

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
広陵東部地区

平成24年4月

奈良県広陵町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	環境活動への参加者数	人/年	80	300	466	確定 見込み ●	○	あり なし	466	H23.年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地元小学校によるクリーンセンターでの学習会等は継続して実施され、環境活動の場は確保できている。
指標2	町民1人当たりゴミ排出量	kg/人年	266	213	214	確定 見込み ●	△	あり ● なし	226	H23.年7月	△	減少傾向は下げ止まり傾向である ■改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	町による情報公開、PR等により、事業前と比べ住民のゴミリサイクルに対する意識は排出量減少という形で表れている。
指標3	健康増進施設の利用者数	人/年	164,781	200,000	201,590	確定 見込み ●	○	あり なし	195,037	H23.年11月	△	パークゴルフ場の完成・稼働時期が事業終了間際であったため、1年間フルの実績を反映できなかった ■改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	パークゴルフ場開業当初の天候不良、低温、PR不足などにより目標値には達しなかったが、稼働開始より利用者数は安定しており(年間ペースなら十分達成)、町民の健康増進に大きく寄与していると評価できる。
指標4	集落環境に対する満足度	%	4.8	20.0	23.3	確定 見込み ●	○	あり なし	29.2	H24.年2月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	百済寺公園周辺や町道整備など目に見えて改善された事業をはじめ、パークゴルフなど生きがい・健康につながる事業が評価されている。

事後評価シート 様式2-1及び様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1						確定 見込み						<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2						確定 見込み						<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み						<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	施設見学、学習以外の活用による利用対象の拡大	・施設内における定期的な展示会 ・地域住民による寄り合い(婦人会)等の実施	各集落の寄り合いの場として、また地元小学校の課外学習の場として広く使われており、特定以外の利用促進が図られている。	今後も引き続き、関係機関(学校、婦人会など)との連携のもと、町民交流の場としての機会創出を図ってゆく。
	ゴミ減量化をPRする広報活動、啓蒙活動の継続	・ゴミ、リサイクルに関する定期的な情報提供・公開(広報、冊子配布など) ・イベント(かぐや姫祭りなど)開催を通じて周知	ごみ減量化に向けての住民説明会・懇談会を開催した結果、家庭内生ゴミ処理機の購入増や生ゴミの水切り励行などにより減量化につながった。	減量傾向は下げ止まり気味であるため、現在実施している対応策以外の新たな取り組みについて意見を聴取し、更なる減量化に努める。
	公園・広場や歩道空間などの快適性の維持、活用	・町と地元住民と連携・役割分担による、清掃・美化活動(継続実施) ・交流が深まるような賑わい空間作りと、周辺を楽しく歩ける散策ルート作り	百済寺公園周辺をはじめとする地元住民や企業による定期的な公共施設の清掃活動により良好な歩行空間が確保され、通学などの歩行者の安全性が高まった。	・地元区やPTA、婦人会による清掃活動を継続して支援する。 ・観光施設周辺においては、来訪者の目線に合った観光案内(サイン等)設置により、更なる観光客の誘客に努める。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	グリーンセンターに隣接する「リサイクルプラザ」や「多目的広場」へ普段から気軽に足を運んでもらうような、多世代にわたる町民が集える環境づくりを検討・実施する	・休憩施設や健康遊具、パークゴルフ練習場などの整備 ・広報や町HP等によるイベントを告知 ・来客者用駐車場の確保	施設整備が進むにつれ軽運動、散歩等の利用者が増えており、周辺地域の健康運動施設の中核となりつつある。	多目的広場の早期整備促進に努める。
	粗大ごみを減らす活動の推奨	・広報等で周知	目に見えた効果は現れていない。	・粗大ごみの活用(再生及び修理による再利用)のPR、現物展示による周知で少しずつ減量化につなげる。(リサイクル自転車の展示など)
	高齢者向けの教室(学習・健康)の開催	・シルバー人材の雇用を活用した、ゴミリサイクルの必要性を学習・地域住民への周知を手伝ってもらおう	シルバー人材の方々を清掃施設でごみ分別作業等の雇用をすることにより、清掃施設の状況や利用方法、ごみ減量を家庭または地域の人人に説明し、リサイクルの普及に貢献してもらっている。	シルバー人材雇用の方々の経験を活かした、各種講習・学習教室の講師として地元へ貢献してもらおう。
	年間を通じた農村、ニュータウン両地区の住民による交流の機会創出	・趣旨に賛同してくれる教育機関などの協力 ・学習会などの企画、実施 ・エコセンターの活用(旧清掃センター跡地)	・かぐや姫祭りなどの定期イベントを通じて、東西の町民交流は着実に浸透しており、集客数も増えている。 ・エコセンターでの再利用工芸製作教室の利用者も増加しており東西間、世代間の交流も浸透している。	引き続き、地域住民による交流機会の創出を支援してゆく。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
百済寺周辺をはじめとする、駅から各観光施設までの誘導強化	案内板(サイン)をの配置(位置)を、観光客、観光ボランティア等の方々の目線・意見聴取より、よりきめ細やかな場所に変更・追加を行うことで、新規及びリピーターの訪問客を見込む。	H24以降	